「柴田こうじ」実行力の成果。



その1

■平成30年3月議会一般質問において、行財政改革を断行するよう求めました。

その後、更なる歳入歳出の見直し、借入金の借換え、先送りになっていた公共施設の再編、市有地の売却等により財政調整基金の積み増しができ、財政の安定化に目処が立ちつつあります。

※財政調整基金とは、自治体が財源の変動に備えて積み立てる基金です。

(家庭でいう貯金のようなものです。)

【一般質問(抜粋)】

【柴田】中間市においては、突発的な支出が発生していないにもかかわらず、財政調整基金の残額は、 平成26年度の約22億円をピークに減り続け平成30年度には1億7000万円となります。

この5年間で約20億円もの財政調整基金を取り崩した中で行政運営がなされています。

このような基金の取り崩しにより、行政運営を行っている状況は大変危険な状況といえるのではないでしょうか。

つまり、緊急の行財政改革を断行しなければ、中間市の財政状況は危機的な状況になるのではないでしょうか。

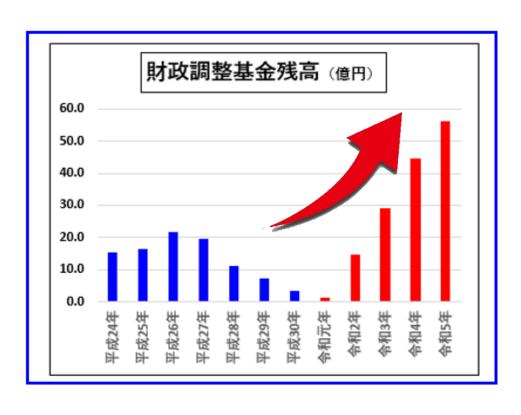
市長このような状況については、いかがお考えでしょうか。

【福田市長】

議員ご指摘のとおり、このままですと<mark>基金が底をつき赤字団体</mark>となってしまう状況でございます。 しっかりと危機感を持って、行財政改革を断行して参ります。

行財政改革の断行による財政の安定化

市民の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます



「柴田こうじ」実行力の成果

市民の皆さん・関係団体の皆さん・市職員の皆さん、ご協力頂きありがとうございます。

その2

横断歩道がないため危険です。





3期に分け実施(平成6年度完了)



【電動ポンプ静態展示場 】案内板が見えません。



皆さんの声を「しっかり」届けて実行

標識があるが、自転車止まらず危険です。



▶なかまハーモニーホールにおむつ交換台・授乳室 があると子供と一緒にイベントを楽しめます。



水溜りができ、児童が歩道を歩けず危険です。



水路側に道路が傾斜していて、危険です。



安心して通行できるようになりました